国際協力論 II

科目ナンバリング　INR-202
選択必修　　2単位

西岡　　淳

1. 授業の概要（ねらい）

国際協力の分野と主体は、20世紀後半以降大きな広がりを見せており、近年のグローバル化はこの動きにますます拍車をかけている。この授業では、国際協力を「国際社会における様々なアクター（国家、国際機関、企業、NGO、個人） による国際的な連携・協力行為一般」ととらえ、国際協力を多角的・多面的に取り上げる。
国際法や国際機関（特に国際連合）についての基礎的な理解を身につけた上で、国際社会における紛争解決と平和の維持、人道支援や難民問題、地球環境問題などの分野でどのような国際的な取り組みがなされているかについて広く学んでいく。
さらに企業や市民社会/NGOが、国際協力で果たしている役割について理解することを通じて、国際協力を自分にとって身近なものに感じていくことを目指す。
この授業はオンライン（春期と同様のオンデマンド配信方式）での開講となる。

2. 授業の到達目標

具体的な国際協力の例について説明できる。国際協力のアクターとその役割について説明できる。その中でも特に国連の機能と役割について説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点（確認テスト、課題の提出）、期末テストの合計で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
特に使用しない。
参考文献
山田満編　新しい国際協力論（第3版）　明石書店（2018年）

5. 準備学修の内容

毎回、確認テストを行う。

6. その他履修上の注意事項

国際協力論・Ｉを修了していなくても、履修を認める。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス（授業の目的、授業の進め方、成績評価についての説明）
はじめに：国際社会の仕組みと国際協力
【第2回】　国際法とは
【第3回】　国際機構概説
【第4回】　国連の組織と機能
【第5回】　紛争とテロ
【第6回】　平和維持活動と武力介入
【第7回】　平和構築と人道支援
【第8回】　日本の国際平和協力
【第9回】　難民問題
【第10回】　人間の安全保障
【第11回】　地球環境問題とSDGs
【第12回】　ジェンダーをめぐる国際協力
【第13回】　市民社会と国際協力
【第14回】　企業と国際協力
【第15回】　期末テスト
なお、以上は予定であり、変更する場合があり得る。